

はと時計 9月号

2025年9月1日発行

大人気本特集

公共図書館では百人、千人が順番待ち中の本
そんな大人気作も松蔭中高図書館では即貸出！
巷で多くの人待ち焦がれる本を集めました

松蔭中高図書館 library@shoin-jhs.ac.jp 担当：井上

『カフネ』
阿部暁子著 講談社 2024



2025年本屋大賞受賞作
最愛の弟を亡くした女性が、その弟の元恋人と共に、食べることを通して前へ進んでゆく。くたくたでも、かなしくて、おいしいものはやっぱりおいしい

『僕には鳥の言葉がわかる』
鈴木俊貴著 小学館 2025



話題の研究者による科学エッセイ
鳥の鳴き声に意味・文法を発見した青年が、夢中で森へ踏み入る日々を、お茶目に楽しく描きます。本文中のかわいい挿絵は、著者自身によるもの！

『C 線上のアリア』
湊かなえ著 朝日新聞出版 2025



兵庫県在住、湊かなえの最新作
ジャンルは「介護ミステリ」。育ての親である叔母を二十数年ぶりに訪ねた主人公は、ゴミ屋敷と化したかつての我が家で、開かずの金庫をみつけて……

『きみのお金は誰のため』
田内学著 東洋経済新報社 2023



とっつきやすい経済教養小説
大人でも分かりにくいお金のことや社会の仕組みを、読みやすい物語形式で解説。「お金自体には価値がない」と言う、謎の大富豪が秘めた真意は？

『ババヤガの夜』
王谷晶著
河出書房新社 2020

2025年ダガー賞
翻訳部門受賞作
暴力の才能に恵まれた主人公が、暴力が発端で、暴力団のお嬢様を護衛することに
バイオレンスと、ミステリと、シスターフッドの鋭い融合



『国宝』文庫版
吉田修一著
朝日新聞出版 2021



大ヒット映画の原作であり、著者の作家生活20周年記念作品
生まれも育ちも才能も異なる二人の若者が、歌舞伎俳優として同じ舞台で高みを目指し、別れた道の先でも、ひたすらに芸へ夢へ命を懸ける

『赤と青のガウン』
彬子女王著
PHP 研究所 2024

X(旧 Twitter)でバズり、急ぎ文庫化
女性皇族として海外で初めて博士号を取得されたプリンセスの、オックスフォード留学記
笑って泣いて学んで女王陛下とお茶会して



『禁忌の子』
山口未桜著
東京創元社 2024



第34回鮎川哲也賞受賞作で、デビュー作
医師である著者による、医療本格ミステリ
「兵庫市民病院」から始まるため、作中の会話が耳になじみ、音を伴って聞こえるよう。著者は兵庫県出身・神大卒なので、納得

リクエスト図書紹介 小学館版学習まんが人物館



『エリザベス2世』
多賀幹子監修 今井
康絵まんが 小学館
2025

英国王室についてよく知ることができます。まんがなので読みやすい。エリザベス2世が夫と出会うシーンが韓国ドラマのようでした。(J1 A・N)

新着図書紹介

『クロエとオオエ』有川ひろ著
講談社 2025

宝石商の息子とジュエリーデザイナーの仕事と恋愛。横浜のお話と思いきや、神戸が出てきます。というのもヒロインは三宮に実在するジュエリーデザイナーがモデルだから。物語に出てくるアクセサリーもQRコードでその実物が見られます。人を楽しませるジュエリーと自分が楽しむジュエリー。どっちがあなたの好み？



『こどもが探せる川原や海辺のきれいな石の図鑑 改訂版』柴山元彦・井上ミノル著 創元社 2025

川や海辺できれいな石を見つけたことはない？実はガーネットや水晶、サファイアかも？石の種類や見分け方、探し方、磨き方が載っ

ています。ホタル石は鉄くぎより少しやわらかい。ナイフを当てても傷つかない紫の石は紫水晶。もちろん一番硬いのはダイヤモンド！どこにどういう石が多いかの名所案内もあります。



『数字でみる動物図鑑』リチャード・ミード、ウィリアム・ポッター、アンナ・クレイボーン著 創元社 2025

美しい写真図鑑です。動物の数字データがわかる。例えばクモの糸は鋼鉄の5倍の強度がある。キツツキは1秒間に22回の本をつつくことができる。ハヤブサは8km/sからでも獲物を見つけることができる。フンコロガシは体重の50倍の糞の球をころがせる。30年生きる女王アリがいる。ペンギンは毎日最大5kg食べる。ナマケモノは40分間息を止めることができる。ジンベエザメは4000本もの歯があるが、濾過摂食者なので咬まない。ラブカのメスは3年半子どもを身ごもる。



ところで『ラブカは静かに弓を持つ』の文庫本入荷しました。単行本と違ってスピノフが収録されています。先生からは主人公が

こう見えていた…。

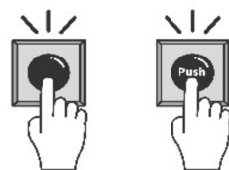
『やくそく ぼくらはぜったい戦争しない』那須正幹さく 武田美穂え ポプラ社 2025

「ズッコケ三人組」の那須先生と『となりのせきのますだくん』の武田先生のコラボです。ばあちゃんはいつも原爆で死んだにいやんとぼくをまちがえる。原爆で死んだのはばあちゃんのにいやんだけではなかった…。

これからの日本がずっと平和でいられるにはどうすればいいと思いますか？

『君のクイズ』小川哲著 朝日文庫 2025

あと1問 答えたら優勝！という時、問題を一言も読まれぬままにボタンを押して、答えた本庄梓。そしてその答が正解だった。彼が優勝で一千万もらうことになったけど、準優勝の僕は納得がいけない。やらせなのか？それとも…。どうやって正答を導き出したのか、調べていくうちに彼の意外な素顔が見えてくる。中に出てくるクイズはすべて本物。特に天保山が日本一低い山でなくなった経緯が面白かったです。第76回日本推理作家協会賞受賞。



『ドゥリトル先生のブックカフェ』賀十つばさ著 幻冬舎文庫 2025



妻が金曜日は仕事に行っていない。尾行したら楽しそうにカフェに行っていた。そこはスコーンの美味しいドゥリトル先生と呼ばれる店主が壁一面に洋書の本を並べた外国のような雰囲気の中で…。『長くつ下のピッピ』『ちいさいおうち』『賢者の贈り物』など名作を処方箋に、登場人物とあなたの背中を少しだけ押ししてくれる物語です。

『はじめての着衣泳教室』岩崎恭子著 誠文堂新光社 2023

夏休みに大きな地震があって津波警報がでていましたね。オリンピック選手でも服を着たまま泳ぐことはできません。海や川に落ちたとき、助けがくるまで浮いているコツを解説しています。浮き具になるものは何か。声を出してはいけない。服や靴を脱いでもいけない。水に落ちた人を見ても自分で助けてはいけません。助けを呼ぶとき、どうしたらいいか、あわてずに備えておきましょう。著者はご存知、バ



ルセロナオリンピックで競泳史上最年少で金メダルを獲った人です。

さて、現在公開中の映画原作の怖い本、入りました。



『小説 8番出口』川村元気著 水鈴社 2025
異変さがしループゲーム。

『近畿地方のある場所について 文庫判』背筋著 角川文庫 2025
単行本とは内容が違っています。映画とも。

全校読書運動
2025
優秀POP作品
展示
今年は「共存・共生」がテーマ

昨年、全国コンクールで最高賞を含む3作品が入賞しましたが、松蔭生は今年も入賞なるか？
9月6日（土）から
11月15日（土）まで
優秀作品を
展示しています。

